

## 1 取引時確認の実施

### (1) 取引を行う目的（法第4条第1項第2号関係）

確認に当たっては、顧客等又はその代表者等から申告を受ける方法によって行うこと。また、ア及びイのとおり、「取引を行う目的」の確認のための参考にするべき類型を示す。

#### ア 特定古物商が貴金属等を買受ける場合

売主	自 然 人	法人・人格のない社団又は財団
目 的	<input type="checkbox"/> 生計費 <input type="checkbox"/> 不用品処分 <input type="checkbox"/> 買替え <input type="checkbox"/> 投資・資産運用 <input type="checkbox"/> 債務弁済資金 <input type="checkbox"/> 相続対策 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 事業費 <input type="checkbox"/> 投資・資産運用 <input type="checkbox"/> 債務弁済資金 <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### イ 特定古物商又は特定質屋が貴金属等を売却する場合

買主	自 然 人	法人・人格のない社団又は財団
目 的	<input type="checkbox"/> 自己使用 <input type="checkbox"/> 贈与 <input type="checkbox"/> 投資・資産運用 <input type="checkbox"/> 相続対策 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 転売 <input type="checkbox"/> 投資・資産運用 <input type="checkbox"/> その他（ ）

### (2) 職業・事業内容（法第4条第1項第3号関係）

顧客等が自然人である場合には「職業」、法人及び人格のない社団・財団である場合には「事業内容」の確認を行うこととされている。アのとおり、顧客等の区分に応じた確認方法をとること。また、イにおいて、「職業・事業内容」の確認のための参考にするべき類型を示す。

#### ア 確認方法（法定）

顧客等の区分	自 然 人	国 内 法 人	外 国 法 人
方 法	顧客等又はその代表者等から申告を受ける方法	（以下のいずれか又はその写しによる確認） <input type="checkbox"/> 定款 <input type="checkbox"/> 設立登記に係る登記事項証明書 <input type="checkbox"/> 所轄行政機関の長による当該法人の事業内容を証する書類（登記をしていない場合） <input type="checkbox"/> 法令の規定により当該法人が作成することとされている書類で、事業内容の記載があるもの	（以下のいずれか又はその写しによる確認） <input type="checkbox"/> 定款 <input type="checkbox"/> 設立登記に係る登記事項証明書 <input type="checkbox"/> 所轄行政機関の長による当該法人の事業内容を証する書類（登記をしていない場合） <input type="checkbox"/> 法令の規定により当該法人が作成することとされている書類で、事業内容の記載があるもの

		<input type="checkbox"/> 官公庁から発行され、又は発給された書類その他これに類するもので、当該法人の事業内容の記載があるもの	<input type="checkbox"/> 官公庁から発行され、又は発給された書類その他これに類するもので、当該法人の事業内容の記載があるもの <input type="checkbox"/> 外国の法令の規定により当該法人が作成することとされている書類で、当該法人の事業内容の記載があるもの <input type="checkbox"/> 日本国政府の承認した外国政府又は権限ある国際機関が発行した書類その他これに類するもので、当該法人の事業内容の記載があるもの
--	--	----------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

イ 職業・事業内容の類型

確認事項	職業	事業内容
職業・事業内容	(以下の項目からいずれか一つを選択) <input type="checkbox"/> 会社役員・団体役員 <input type="checkbox"/> 会社員・団体職員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 個人事業主・自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト ・派遣社員・契約社員 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 退職された方・無職の方 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(以下の項目からいずれか一つを選択) <input type="checkbox"/> 卸売・小売業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> 金融業・保険業 <input type="checkbox"/> 農業・林業・漁業 <input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> 情報通信業 <input type="checkbox"/> 運輸業 <input type="checkbox"/> 不動産業 <input type="checkbox"/> その他 ( )
古物商・質屋該当有無	(以下の項目からいずれか一つを選択) <input type="checkbox"/> 古物営業又は質屋営業の許可を有している <input type="checkbox"/> 古物営業又は質屋営業の許可を有している者の代理人等である <input type="checkbox"/> 上記に該当しない	(以下の項目からいずれか一つを選択) <input type="checkbox"/> 古物営業又は質屋営業の許可を有している <input type="checkbox"/> 古物営業又は質屋営業の許可を有している者の代理人等である <input type="checkbox"/> 上記に該当しない

2 ハイリスク取引における本人特定事項等の確認 (法第4条第2項関係)

マネー・ローンダリングに利用されるおそれが特に高い取引として、

- なりすましの疑いがある取引
- 本人特定事項を偽っていた疑いがある顧客等との取引

○ 特定国等（イラン・北朝鮮）に居住し又は所在する顧客等との取引については、「ハイリスク取引」として、より厳格な確認方法をとることとされた。

(1) 本人特定事項についての厳格な確認方法（法定）

「ハイリスク取引」である場合には、本人特定事項について、より厳格な確認方法をとること。

	自 然 人	法 人
とるべき 確認方法	<p>【方法1】①及び②の両方による確認</p> <p>①：規則第5条第1項第1号イからニまでに掲げる方法のいずれかによる確認</p> <p>②：①で確認に用いていない本人確認書類若しくは補完書類で、顧客等の住居の記載があるものの提示を受け、又は当該書類若しくはその写しの送付を受けて確認記録に添付</p>	<p>【方法1】①及び②の両方による確認</p> <p>①：規則第5条第1項第3号イ又はロに掲げる方法による確認</p> <p>②：①で確認に用いていない本人確認書類若しくは補完書類で、顧客等の本店又は主たる事務所の所在地の記載があるものの提示を受け、又は当該書類若しくはその写しの送付を受けて確認記録に添付</p>
	<p>【方法2】①及び②の両方による確認</p> <p>①：規則第5条第1項第1号ホからトまでに掲げる方法のいずれかによる確認</p> <p>②：規則第6条第1号、第3号又は第4号に掲げる本人確認書類の提示を受け、又は当該書類若しくはその写しの送付を受けて確認記録に添付</p>	<p>【方法2】①及び②の両方による確認</p> <p>①：規則第5条第1項第3号ハに掲げる方法による確認</p> <p>②：規則第6条第2号又は第4号に掲げる本人確認書類の提示を受け、又は当該書類若しくはその写しの送付を受けて確認記録に添付</p>

(2) 実質的支配者についての厳格な確認方法（法定）

「ハイリスク取引」である場合には、実質的支配者について、より厳格な確認方法をとること。

法人の区分	資本多数決の原則を取る日本	資本多数決の原則を取る法人以外の法人	外 国 法 人
確認すべき書類	<input type="checkbox"/> 株主名簿 <input type="checkbox"/> 有価証券報告書 <input type="checkbox"/> 上記に類する当該法人の議決権の保有状況を示す書類	(以下のいずれか又はその写しによる確認) <input type="checkbox"/> 設立登記に係る登記事項証明書（登記済みの場合） <input type="checkbox"/> 所轄行政機関の長による法人を代表する権限を有している者を証する書類（登記をしていない場合）	(以下のいずれか又はその写しによる確認) <input type="checkbox"/> 設立登記に係る登記事項証明書（登記済みの場合） <input type="checkbox"/> 所轄行政機関の長による法人を代表する権限を有している者を証する書類（登記をしていない場合）

	<input type="checkbox"/> 官公庁から発行され、又は発給された書類その他これに類するもので、法人を代表する権限を有している者を証する書類	<input type="checkbox"/> 官公庁から発行され、又は発給された書類その他これに類するもので、法人を代表する権限を有している者を証する書類 <input type="checkbox"/> 日本国政府の承認した外国政府又は権限ある国際機関が発行した書類その他これに類するもので、法人を代表する権限を有している者を証する書類
--	---------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 資産及び収入の状況の確認方法（法定）

「ハイリスク取引」のうち、その取引が200万円を超える財産の移転を伴う場合には、顧客等の区分に応じて、次に掲げる書類又はその写しの一又は二以上を確認すること。

顧客等の区分	自 然 人	法 人
確認すべき書類	<input type="checkbox"/> 源泉徴収票 <input type="checkbox"/> 確定申告書 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳 <input type="checkbox"/> 上記に類する当該顧客等の資産及び収入の状況を示す書類	<input type="checkbox"/> 貸借対照表 <input type="checkbox"/> 損益計算書 <input type="checkbox"/> 上記に類するもので当該法人の資産及び収入の状況を示す書類
	<input type="checkbox"/> 上記書類であって、当該顧客等の配偶者に係るもの （上記類型から一つ以上を選択）	